

ひかり

2024年3月号

第721号



Easter Day

日本聖公会 三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。(ヨハネによる福音書 20:19~20)

わたしを遣わしてください

管理牧師 司祭

ニコラス 中川 英樹

「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか。」そう、神の働きを担う者が求められる中、イザヤが「わたしはここにおります。わたしを遣わしてください。」(イザヤ6:8)と、その神からの召命を誰よりも先んじて申し出ました。

昨年7月、急遽、三光教会に管理牧師の派遣が必要となったとき、この「わたしを遣わしてください。」とのイザヤの言葉が私の言葉となりました。イレギュラーな時期の派遣でしたが、私には不安も心配もありませんでした。なぜなら、それが神からの召しであり、また三光教会には荻原司祭(当時は執事)がおられ、何よりも10年前に司牧した教会でもあって、歩みを共にさせていたのだ。仲間たちがたくさんいて、きつと支えてもらえると考えたからです。だから大丈夫。そんな想いを携えての最初の奉仕日。「お帰らないさい」その声がすごく嬉しかった。

たです。そこからの8ヶ月間はほんとうに恵みに満ちたときでした。

三光教会は1912年11月2日、芝白金三光町の地で成立したため、その三光の名を取り、その後、聖ステパノ教会、聖十字架教会、喜望教会の三つの教会が合同して、一つの教会となり現在に至ります。三つの光……三つの教会の合同……三光教会の中にある「三つ」ということについて。

あらゆる形の中で、最も強度が高いのは、丸でも四角でもなく、三角形だと小学校の頃に習いました。何でも、力学的に三角形は、さまざまに係る過重を均等に分散するからだとか。また、「三人寄れば文殊の知恵」という言葉があります。特別に、秀でた学識がなくても、三人集まって相談すれば、何か良い知恵が必ず浮かぶものだという意味の言葉です。さらに『三銃士』という童話があります。銃士になるのを目指して、パリにやってきた若者ダルタニヤンが、三銃士であるアトス、ポルトス、アラミスと出会い、共に活躍する物語です。ダルタニヤンと三銃士が剣を合わせて、その重ねた剣を高く上げ、「一人は皆のために、

皆は一人のために」と勇ましく声を上げる場面は、小さい頃の私には、ものすごく格好良く映りました。また「三本の矢」というのがあります。毛利が病床で、3人の息子たちに、1本の矢を取って折り、続いて、矢を3本を束ねて折ろうとするけど、それを折ることができないのを見せ、「このように、3本がまとまると簡単には折れないので、3人がよく結束するように」と告げた、とされるエピソードです。このように、わたしたちの周りには、「三つ」ということの中には、大きな力が働く、ということ伝えるものが結構あります。

「三つ」ということの中には大きな力が働くということ……三光教会はそれを体現する教会です。三光教会は「礼拝」を大切にします。三光教会は「人」を大切にします。三光教会は「力」のある教会です。わたしはそんな、三つの光を大切に三光教会の働きに携われたことを心から誇りに思います。ですが、この3月に管理の任が解かれることは派遣の時に決まっていたとはいえ、やはりお別れは寂しいものです。

4月から牧師とられる上田

憲明司祭は長く病院チャプレンとして働かれた方で、聴くことの力に長けた方です。どうぞ、たくさん話を聴いてもらってください。安心して自分の弱さが語れる教会を上田司祭はきつと整えられることと想います。

この8ヶ月ほんとうにお世話になりました。心から感謝しています。また会いましょう。

「苦楽を共にした5年間」

司祭 ヤコブ 萩原 充

神学院を卒業して2019年4月からの三光教会でのご奉仕は、5年となりました。その間コロナ禍で礼拝を休止せざるを得ない状況もありましたが、オンライン配信を用いるなど知恵を出し合って共に信仰生活を過ごしてきた5年間は印象深いものとなりました。

三光教会での恵みは、毎朝の礼拝であつたと感じています。み言葉に聴き、黙想し、聖餐に与る静かな朝のひとときは、み言葉に養われるという実感を持つことのできた貴重な時間であつたと思います。

教役者の減少に伴い、三光教会も牧師のいない主日が出てきていますが、牧師がいなくても、それぞれの奉仕グループにおいて、祈禱書を用いて開会祈禱をし、聖書を読んで分かち合いをするなど、主體的に祈りみ言葉に聴くことが三光教会が大切にしてきた祈りの伝統を継承していくことになるのだと思います。これからの三光教会の歩みに主の祝福が豊かにありますようにお祈りいたします。

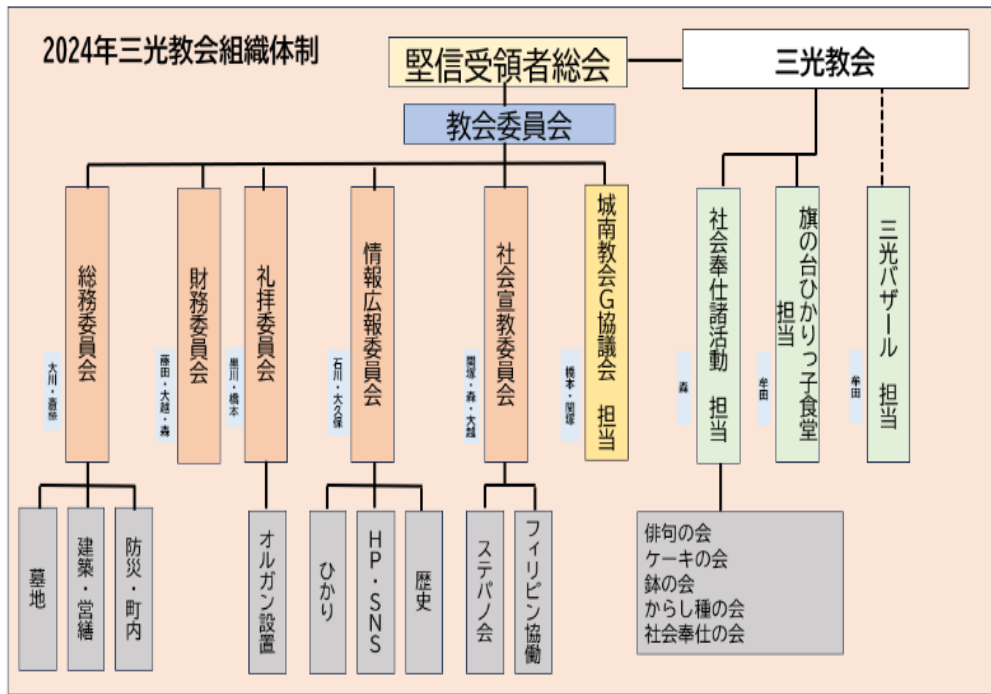
3月～4月の予定

◆3月	24日(日)	復活前主日
	25日(月)	復活前月曜日
	26日(火)	復活前火曜日
	27日(水)	復活前水曜日
	28日(木)	聖木曜日
	29日(金)	聖金曜日(受苦日)
	30日(土)	聖土曜日(イースター・ヴィジル)
◆復活日	3月31日(日)	
◆4月	1日(月)	復活後月曜日 逝去者記念礼拝
	2日(火)	復活後火曜日
	3日(水)	復活後水曜日
	4日(木)	復活後木曜日
	5日(金)	復活後金曜日
	6日(土)	復活後土曜日
	7日(日)	復活節第2主日 上田憲明司祭 牧師就任式 聖マリヤへのみ告げの日
	8日(月)	アメリカ大陸の殉教者
	14日(日)	復活節第3主日
	21日(日)	復活節第4主日
	23日(火)	殉教者ジョージ
	25日(木)	福音記者聖マルコ日
	28日(日)	復活節第5主日
	29日(月)	おとめシエナのカタリナ

「グループ制の廃止と諸委員会制の導入について」

三光教会は、2022年に、従来の縦割り型の諸委員会制をやめ、グループ制を採用しました。グループ制採用の大きな理由は、委員会制下では教会内の働きの横断的な連携が不十分となること、また働き人の減少が顕著で、教員全体で、宣教の働きに参与し、共に担い合う必要が急務だったからです。しかしグループ制を2年間継続しましたが、当初の課題の解消には至らず、むしろそれまで、異なった働きを担ってきた諸委員会がグループに統合されたことで却って宣教課題の共有が難しくなり、教会全体の働きの後退が心配されるようになりました。こうした事態を受け、教会委員会では、より多くの人が働きに参与できるようにグループ制の良い面を残しつつ、新しい諸委員会制を導入することになりました。新しい組織図は左図のようになります。教会の皆さまにおかれましては、上述のような経緯をご理解いただきつつ、積

極的に教会の働きを担っていただきたくお願いする次第です。
(管理牧師ニコラス中川英樹)



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■ 主日礼拝

午前 7:30 聖餐式
午前 10:30 ステパノ会
(日曜学校) 礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■ 平日礼拝

毎朝 6:30 から
月、水、金は朝の礼拝、
火、木、土は聖餐式